

はこぎんぎ

箱崎環境対策協議会

第12号

中央区日本橋
箱崎町34の8
電話 667-5667



御挨拶

—新箱四町会長 山岸さんより皆様へ—

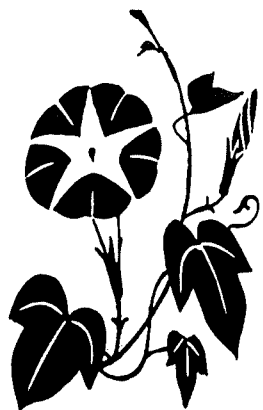
梅雨も明け愈々本格的な夏を迎えました。箱崎町の皆様には日頃町会を通して大変お世話になっております。

この度、箱四町会の皆様から町会長にと推薦を頂きましたのでご挨拶を申し上げます。前会長の清水様が一身上のご都合で勇退されました。私にとの前会長様よりお話を受けて、副会長様方と相談を致しまして浅学非才では御座居ますが、副会長様はじめ町会員の皆様のご協力を戴きまして微力ではありますが勤めさせて頂きます。

二、三町会・箱北町会様と緊密に情報交換し又、色々行事等を仲良く行いたいと思っております。前会長の御意見を聞きながら、町会員の皆様の御要望を推し進めて行きたいと思っておりますので、御意見等ございましたらどしどしお聞かせ下さい。読売基金に致しまして立派な委員会が出来まして、その使途につきましても委員会、町会の担当者が話し合います。高齢化社会、福祉、町会員の皆様方に有効にそして喜んで載ける様に考えて居ります。行政のご指導による再開発の工事が着々と進行して、二年後には立派なビル二棟が完成して箱崎の町も一変する事でしょう。清掃事務所跡に建築中の箱崎町住宅の完成も十一月との事で、完成の暁には箱崎町の皆様方との良いコミュニケーションの場が持てる事と愉しみにしております。

又、今年も八月には楽しい行事が若い方々の企画で目白押しの様で、心待ちにして居ります。これからも地域各町会の発展と皆様方と仲の良い町造りに進む覚悟でご座居ますので、一層のご協力をお願いしてご挨拶と致します。

箱四町会 会長 山岸 博



川田利雄氏 叙勲!

箱崎環境対策協議会の副会長でもあり、箱崎二、三丁目町会会長の川田利雄様がこの度、永年の民生委員活動の功績により春の叙勲において、勲六等単光旭日章の榮譽に輝かれました。本当にお目出とう御座居ます。環境対策一同心よりお祝い申し上げます。

尚、お祝いの会は七月六日(水)ロイヤルパークホテル瑠璃の間にて、矢田区長を始め多くの御来賓の出席のもと、盛大に開催されました。



今年は陰祭!

昨年の本祭りで大活躍した「箱崎まつり睦会」は今年も町の親睦を計り、いろいろ企画を考えています。詳細は回覧板で廻ります。皆様おたのしみに!

- 八月十九日(金) ビヤパーティ・盆踊り
- 二十日(土) 子供、女性神輿
- 二十一日(日) 山車・盆踊り
子供フェスティバル



旧箱崎小学校の校友会準備始まる

太平洋戦争の最中、昭和十九年三月戦局の激化によって廃校となった旧箱崎小学校は、今年その廃校五十周年を迎えることとなった。同校は箱崎町に明治四十二年十二月、東京市箱崎尋常小学校と称し開校し、以来大正十二年に関東大震災により校舎を全焼したが、その後昭和三年三月二十五日に新校舎を完成再建した。当時では近代的設備の行き届いた立派な校舎として知られた。現在は都立日本橋高等学校に引き継がれ、何回も改築工事が行なわれているが、その母体は今も使われている。

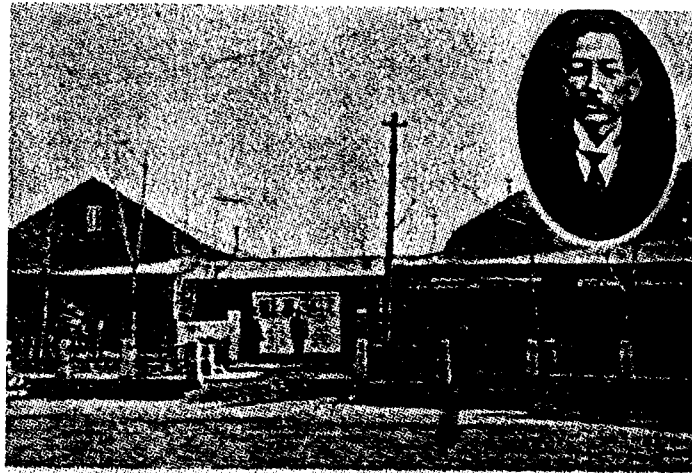
小学校在籍三十五年の間に在籍し巣立った学童の数は多く、約四千二百人を上回るものと推定される。

半世紀を経た今日、卒業生は既に高齢化し若い人でも六十才を越え、大多数の人は各地に分散し、現在地元学区内(箱崎、蠟燭、小網町)に居住している人はほとんど居なくなつてしまつた。

終戦後幾たびか、同窓会の話が持ち上つたが、立ち消えとなり実現しなかつた。

このほど、地元箱崎町に住む卒業生の有志が集り、廃校五十周年を機会に昔を偲びながら記念の同窓会を行なおうと、去る六月二十二日初の発起人会を開き、代表に昭和十三年卒業生の村松英之氏(箱崎四十三の十在住)を推薦し、この秋の大会を目的に活動を進める事となつた。

同校は廃校当時、在籍していた児童生徒は有馬国民学校(現小学校)に併合収容の形となつたが、実際には強制的な戦時疎開を余義無くされ各地方に分散し、戦争の悲惨な経験



▲大正14年校舎と校長先生



国の花としての
桜の花の中心に、
箱崎の文字を入
れた

を味わう事となつた。
幼い頃の想いは、いつまでも何人にも心に
残るものであるが、箱崎小学校に在籍した児
童の在籍簿は今も区立有馬小学校に大切に保
管されている。
尚、来る十月二十三日、日本橋高校のご好
意で体育館にて校友会を開催致しますので、
卒業された方、一年でも学ばれた方は是非ご
参加下さい。

代表

- 村松英之
- 幹事 箱北 内田正義
- 二、三 青木昭吾
- 箱四 会田 修
- 山岸 博
- 時田 功

スーパー堤防に公衆トイレ設置!

地元より行政に要望

近年着々整備されている隅田川のスーパー堤防は、四季を通して都民の憩いの場としても訪れる人が益々増えている。
特に、夏の夕方の大川端では、涼風とともに行き交う屋形舟の連り提灯が川面に美しく煌いて、その風情は下町の情緒を醸す、都心の数少ない風物を味わうことができる場所となつて、堤防に沿ってジョギングや犬を連れて散歩を楽しむ人、時には川釣をする人、最近では近在に住む人達、町内会、オフィスのグループ等の親睦パーティーの場としても利用する機会が多くなつてきた。

奇麗に整備されたこの堤防も、もともと河川の安全確保のための護岸であつて、美観の損なつた旧カミソリ堤防に改良を加えたもので、広大な都市計画の発想と行政の力により出来上つたものである。

昨年ごろから、箱崎地区のこの堤防に公衆トイレの無いことで、利用者や近隣の人達から不便を感じて、トイレの設置要望の声が囁やかれるようになった。当箱崎環境対策協議会でもこの問題を取り上げることとし、行政や各方面に提言を行つていくこととした。

この春行なわれた、区の行政懇談会に招かれ、地域の自治会代表として出席した、箱崎北新堀町会 宝田陽一会長(環境対策協議会会長兼任)も、席上この問題を取り上げ、中央区に対して早急にこの公衆トイレを設置するよう強く要望を行つた。

堤防に関わる行政の管轄は複雑で、各種の法律により保護管理されている現状で、堤防上に新たな建造物や施設の設置はかなり難しい問題がある。

区では早くからトイレ設置について検討されていくようであるが、敷地の関係や設置場所等について幾つかの問題があるようです。

このほど、地元箱崎地区三ヶ町会でもこの件につき、各町会長の話し合いをもち地元の意見をまとめ、区に対し早急にトイレの設置実現を促すべく、三ヶ町会長連名にて七月十五日中央区長にたいし要望書を提出した。

『箱崎町の最近の移り変り』

今回「はこざき」第十二号を発行するに当り、箱崎環境対策協議会として創刊号からの紙面を振り返りて見た。
確かに箱崎町は大きく変つて来ている。

【昭和六十一年】
四月◎ターミナル下 地下鉄駅構内見学。
◎地下鉄駅出入口を箱崎側に設置要望。
(TCA T地下駐車場通路が妨害し断念)

【昭和六十二年】
七月◎当協議会主催「町造り講演会」開く。
八月◎深川八幡宮大祭、箱崎連合町会運営。
九月◎当協議会が「町造り協議会」として中央区より第一号の助成金を受領。
十一月◎人形町モール街を箱崎まで延長要望
この要望は中央区のシンボルロード計画となり、IBM前通り・彌敷町から隅田川大橋迄がカラー舗装化され平成五年完成した。

【昭和六十三年】
一月◎当環境対策協議会機関誌「はこざき」創刊号発行。
発行にあたり(大川端作戦と合せ)スパー堤防に水上バス乗降場と箱崎地区内に区民館の建設を要望している。
五月◎環境対策協議会総会に矢田区長出席。
七月◎「はこざき」第二号発行。

【平成元年】
三月◎三井オフィスビル、スパー堤防完成
四月◎三井オフィスビルにIBM社入居。
十二月◎IBM社の地域貢献活動として当協議会に金五千万円の御寄贈を頂く。
(湊橋からターミナル迄の道路改修事業に使用)現在「箱崎湊橋通り」とし立派なメインストリートになった。

【平成二年】
二月◎六月◎地下鉄駅名問題で地域で論争。
三月◎湊橋改修工事終る(元年十一月より)
六月◎「はこざき」号外発行(駅名問題)
十月◎読売側スパー堤防固め工事始まる。
(台船により川底に薬を注入)
十一月◎地下鉄半蔵門線開通。
十二月◎日本橋高校改築工事終る。

【平成三年】
一月◎「はこざき」第五号発行。
三月◎IBM社資金による箱崎湊橋通りの改修工事完成(花みずきの並木とデザイン街路灯により立派な道路となる。
八月◎「はこざき」第六号発行。
◎「街も企業も伸びる箱崎」を提唱。
九月◎読売ビル建設工事始まる。
十二月◎湊橋通りの電柱地中化要望。
◎新年に向け箱崎のメインストリートに

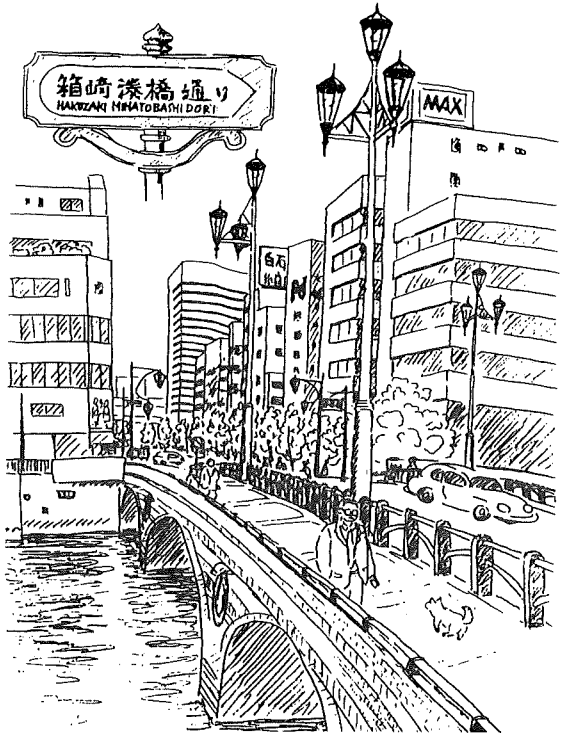
日の丸の旗を飾る。

【平成四年】
一月◎「はこざき」第七号発行。
三月◎箱崎公園改修工事完成。
新しい噴水やトイレ、町の各種イベントやコミュニケーションの場となる。
七月◎「はこざき」第八号発行。
◎道路名募集(湊橋ターミナル)
八月◎リサイクル、ストックヤード設置。
(隅田川大橋下と箱北町会内に)
十月◎箱崎再開発事業の一部解体工事始る。
いよいよ箱崎の中心的地域が変る!
◎箱四町会の中州からの一方通交路にパキングメーター設置計画、近隣の反対署名運動により今回の計画は中止。
十二月◎区立箱崎住宅、区民館「工事始る」
◎新年を祝い、日の丸の旗を飾る。

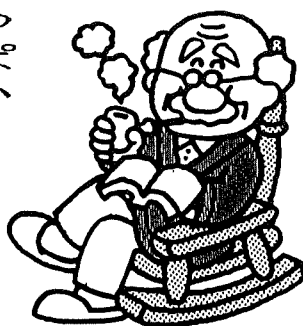
【平成五年】
一月◎「はこざき」第九号発行。
三月◎「箱崎湊橋通り」中央区により道路愛称名として認められる。
六月◎当協議会主催「町造り講演会」開く。
◎皇太子殿下御成婚を祝いメインストリートに日の丸を飾る。
八月◎「はこざき」第十号発行。
◎深川八幡宮大祭、箱崎連合町会運営。
九月◎「箱崎湊橋通り」道路標識四基設置。
十月◎「親子はせ釣り大会」開催。
十一月◎地下鉄半蔵門線、押上迄延長計画発表
十二月◎箱崎第二公園改修工事計画説明会。
◎新年を祝い日の丸の旗を飾る。

【平成六年】
一月◎「はこざき」第十一号発行。
◎箱崎再開発事業、本格工事に入る。
三月◎読売ビル完成。
七月◎スパー堤防に公衆トイレ設置要望。
文頭の◎印は箱崎環境対策協議会が関与した事業です。
当協議会はこれからも「街も企業も伸びる箱崎」を提唱し、住み良い町造りに向け、より一層ガンバリます。今後共皆様の御指導、御支援の程お願い申し上げます。

編集部一同



箱崎にも横綱がいつばい!



今回、編集部では箱崎にお住いの人々の中から「年齢横綱」と、どれ程「永く箱崎に住んでいるかの横綱」を調べてみました。高齢化社会と言われますが、地域にとつて皆様は大先輩な訳ですから何かにつけて頼りになる存在です。
 お年寄横綱を年齢順に十名、箱崎に住んで永い横綱を各町会より五名、敬意を以て紙上発表致します。

【年齢横綱】

- 一、新堀はな様 箱崎町十四ノ六 明治三十一年二月五日生 九六才
- 二、三村いま様 箱崎町十三ノ八 明治三十四年十二月九日生 九四才
- 三、岩田金一様 箱崎町三ノ十一 明治三十五年二月七日生 九二才
- 四、久保常七様 箱崎町三十九ノ八 明治三十五年五月十一日生 九二才
- 五、須合兼司様 箱崎町二十八ノ一 明治三十七年三月五日生 九〇才
- 六、岡田やす様 箱崎町三十九ノ三 明治三十七年十月四日生 八九才
- 七、神山 静様 箱崎町六ノ十二 明治三十七年十月六日生 八九才
- 八、辰口ヒテ様 箱崎町三十九ノ三 明治三十八年三月十九日生 八九才
- 九、木島よし様 箱崎町三十九ノ八 明治四十年六月十日生 八七才
- 十、小川 信様 箱崎町十九ノ七 明治四十年十月二十七日生 八六才



いよいよ竣工!

中央区立箱崎コミュニティルームは、旧清掃事務所跡地に現在建設中の中央区立住宅は、今年九月完成に向けて順調に工事は進んでいる。十一月には入居の予定で七月二十五日より入居申込を受け付けている。
 この建物の一階部分は地域住民の自主管理によるコミュニティルームとしてオープンする。中央区として初めての試みである地域の自主管理、私達近隣住民としては大いに期待している。

【在住横綱】

- 一、『箱北町会』
池田与一郎様 大正五年 箱崎町五ノ十五 在住 七八年
- 二、中 志つ様 大正五年 箱崎町一ノ十八 在住 七八年
- 三、守川善二様 大正十三年 箱崎町七ノ二 在住 七〇年
- 四、吉野八重子様 大正十三年 箱崎町六ノ二 在住 七〇年
- 五、松本利子様 大正十五年 箱崎町五ノ十五 在住 六九年
- 一、『箱二、三町会』
新堀はな様 大正十年 箱崎町十四ノ六 在住 七三年
- 二、高橋善治様 大正十一年 箱崎町十四ノ七 在住 七三年
- 三、小林千江子様 大正十一年 箱崎町十八ノ二 在住 七二年
- 四、宮田栄一様 大正十一年 箱崎町十七ノ十 在住 七二年
- 五、神山 静様 昭和二年 箱崎町六ノ十二 在住 六七年
- 一、『箱四町会』
皆川はる子様 明治四十四年 箱崎町二十三ノ二 在住 八四年
- 二、長谷川治郎様 大正十一年 箱崎町三十九ノ八 在住 七三年
- 三、須合兼司様 大正十二年 箱崎町二十八ノ一 在住 七一年
- 四、小林 昇様 大正十三年 箱崎町二十七ノ九 在住 七〇年
- 五、福本 正様 大正十四年 箱崎町二十ノ十一 在住 七〇年

町会たより

箱四町会の隅田川大橋下の駐輪場が放置自転車等で困っていたが、このほど中央区の協力で甦った。住民と区が協力して、放置自転車六十台、バイク十台を撤去し町が奇麗になったと箱四町会では喜んでている。

箱四町会では去る七月十五日廃品回収の収益金の一部(三万円)を、中央区社会福祉協議会へ寄附をしました。箱四町会では今後社会福祉に貢献できればと町会員が一致団結して協力して行きます。

